

[平成22年度普及に移す技術]

[技術名] ウメ成木への高接ぎによる新品種「福太夫」の早期成園化技術

[要約] ウメ成木における「福太夫」への高接ぎによる品種更新は、3月に1樹当たり18ヶ所高接ぎする。樹冠拡大の促進と新梢誘引のためのパイプ棚を設置し、高接ぎ更新5年目には90kg/樹の収量が得られる。

[キーワード] ウメ、福太夫、高接ぎ、パイプ棚、

[担当] 園芸試験場・ウメ研究グループ

[連絡先] 電話 0770-32-0009

電子メール j-yamamoto-ae@pref.fukui.lg.jp

[背景・ねらい]

本県のウメは青梅として「紅サン」、「剣先」で産地化を図ってきたが、近年、青梅を加工する消費者が減少するなどにより、青梅の需要が減少している。2005年に育成したウメ新品種「福太夫」は収量が高く、白干梅への加工適性も優れることから、本品種の導入が望まれる。しかし、改植では成園化に年数を要することから、高接ぎによる早期成園化技術の確立を行う。

[技術の内容・特徴]

1. 切り接ぎによる高接ぎ時期は活着率が高く、新梢生長の良い3月が適する(表1)。
2. 樹冠拡大を図るため、パイプ棚を設置し、新梢を誘引する(図1)。
3. 接木5年目で「福太夫」への樹冠面積は33~45m²となり、更新前の樹冠面積にほぼ回復する(表2)
4. 樹冠面積の拡大とともに接木口数・側枝数は減少することから、接ぎ口数は1樹当たり18ヶ所実施する(表3)。
5. 接木から5年目の収量はほぼ90kgを超える(表3)。

[技術の活用面・留意点]

1. 高接ぎ更新は切り接ぎを用い、新梢~3年生枝で可能である。接木位置は主幹に近い主枝・亜主枝の基部に実施する。
2. パイプ棚の設置・誘引は風害等を少なくし、早期に収量を確保できる。資材費は241千円/10aである。
3. 「福太夫」は樹勢が強く、過繁茂になりやすいため、側枝数は生育とともに制限する(表3)。
4. 接木部から発生した新梢の伸長促進や擦れ傷防止のため、発生新梢周辺の間台品種の枝葉は切除する。

[普及計画]

普及目標：3ha、45t(青梅)

普及対象：福井ウメ振興協議会所属JA、各部会、一次加工農家、新規ウメ栽培農業者

普及に向けた対応：現地試験圃場の拡大、園試による苗生産

[具体的データ]

表1 接木時期と新梢伸長(2005年)

接木時期 (月日)	活着率 (%)	新梢伸長 (cm)
3月15日	89	106
4月18日	61	85
5月19日	64	32

(注)
高接ぎ樹: 樹齢 35 年生「剣先」
接木部位: 1~3 年生側枝基部

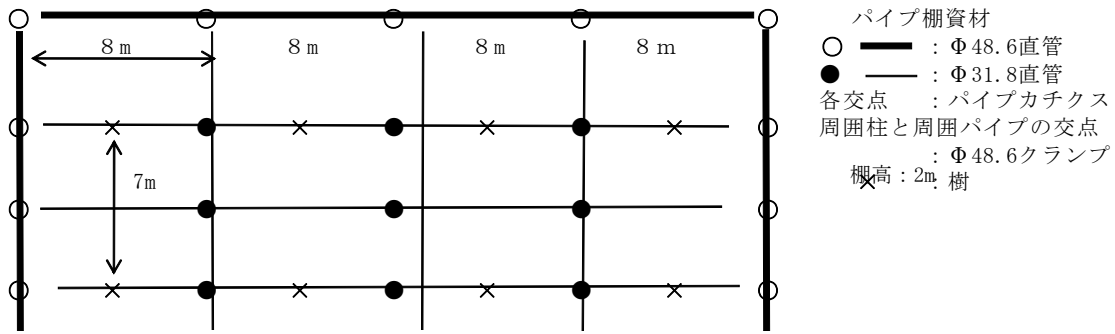


図1 パイプ棚の構造と資材

表2 高接ぎ樹における更新樹冠占有面積の推移

接木密度	樹冠面積 ^z (m ²)	接ぎ口数/樹			接口密度 (口/m ²)	せん定前の更新樹冠面積(m ²)			
		1年目	2年目	計		2年目	3年目	4年目	5年目
低密度	42.4	10	15	25	0.6	9.9	19.0	28.1	34.3
中密度	28.9	10	20	30	1.0	6.8	14.0	24.6	33.2
高密度(一挙更新)	22.5	30	16	46	2.0	17.4	36.3	44.6	45.6

z: 高接ぎに供試した剣先35年生樹の樹冠占有面積(2004年)、植栽距離8m×7m

表3 接木後の接ぎ口数・側枝数の推移および収量の推移

接木密度	年次	接ぎ口数の 推移(口/樹) ^z	側枝数の推 移(本/樹)	福太夫収量 (kg)	平均果重 (g)	樹冠面積当り 収量(kg/m ²)	剣先収量 (kg)
低密度	3年目	25	34	13.8	16.7	0.73	45.0
	4年目	23	31	30.1	19.0	1.07	17.3
	5年目	18	25	99.1	22.7	2.89	0.0
中密度	3年目	30	46	3.6	20.9	0.26	19.9
	4年目	28	40	19.3	25.1	0.78	8.5
	5年目	17	30	95.5	22.9	2.88	0.0
高密度 (一挙更新)	3年目	46	87	27.3	17.6	0.75	0.0
	4年目	42	66	69.9	18.3	1.57	0.0
	5年目	22	24	88.8	20.2	1.95	0.0

^z: 当初の接ぎ口数から間引きせん定後の残存接ぎ口数
(収穫日: 3年目07/6/13、4年目08/6/16、5年目09/6/28)

接木前年の剣先収量
低密度:49kg、中密度:22kg、高密度:21kg

[その他]

研究課題名: ウメの早期成園化と果実特性に応じた加工技術の確立

研究期間: 2005~2009 年度

研究担当者: 山本 仁、小川晋一郎